2026　年度　　授業概要

科目名		聴覚系の構造・機能・病態			授業の種類	演習	講師名		
授業回数	15回	時間数	30時間　（1単位）	配当学年・時期	言語聴覚士科2年			必修・選択	必修

〔授業の目的・ねらい〕

聴覚系の疾患を中心に構造・神経機能・病態生理・治療など理解する

〔授業全体の内容の概要〕

聴覚の解剖を終えてからの聴覚系の機能とその病態と障害からの治療を理解する。

〔講師の実務経験〕

〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕

聴覚器官の解剖生理について知識の定着および聴覚器官の主要な疾患の病態と治療の理解ができる。

回数	講義内容
1	**聴覚器官の構造①を理解する**
2	**聴覚器官の構造②を理解する**
3	**外耳と中耳および内耳の機能について理解する**
4	**蝸牛の役割についてついて理解する**
5	**聴覚器官の疾患概要および考え方について理解する**
6	**主な外耳疾患について（外耳奇形・外耳炎・耳瘻孔）の診断、治療について理解する**
7	**主な中耳疾患について①（鼓膜疾患）の診断、治療について理解する**
8	**主な中耳疾患について②（耳小骨・耳管・悪性腫瘍）の診断、治療について理解する**
9	**主な内耳耳疾患について①（突発性難聴・内耳炎・メニエール病）の診断、治療について理解する**
10	**主な内耳耳疾患について②（外傷性内耳疾患）の診断、治療について理解する**
11	**主な内耳耳疾患について③（前庭水管拡大症）の診断、治療について理解する**
12	**主な内耳耳疾患について④（音響外傷）の診断、治療について理解する**
13	**主な内耳耳疾患について⑤（聴神経腫瘍）の診断、治療について理解する**
14	**内耳（前庭・半規管）の構造・生理について理解する**
15	**主な内耳耳疾患について⑥（前庭・半規管）の診断、治療について理解する**

【　準備学習・時間外学習　】

【　使用テキスト　】

書籍名	著者名	出版社
病気がみえるVol.13 耳鼻咽喉科		メディックメディア

【　単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）　】

試験の結果を100点満点として成績を評価する。試験は定期試験のみ実施とし、60点以上の場合に科目を認定する。